



世界遺産
中尊寺



平泉の中尊寺・毛越寺、松島の瑞巖寺、山形の山寺立石寺とともに慈覚大師円仁の開基です。佛聖松尾芭蕉が「奥の細道」で巡拝した寺々でもあります。専用のご朱印帳で四寺の「ご朱印」を集めたいかと記念の色紙を、また専用紙に「写経」し四寺にお納めいただくとお納経の証としてお守りをお授けいたします。

みちのくを旅する道しるべとして四寺を廻ってみてはいかがでしょうか。

みちのく巡礼
四寺廻廊

しじかいろう



金色堂新覆堂



中尊寺はユネスコの世界文化遺産「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」(2011年登録)の構成資産です。

清衡公九〇〇年

御遠忌に向けて

藤原清衡公により中尊寺が落慶供養されて九百年を迎えようとしています。参拝の皆さまに中尊寺をより深く体感いただけるよう様々な取り組みを進めています。

●二〇二四年(令和六年)

金色堂建立九〇〇年

●二〇二六年(令和八年)

中尊寺落慶供養九〇〇年・世界遺産登録十五周年(発見から十五年)

●二〇二七年(令和九年)

藤原清衡公九〇〇年御遠忌

ご参拝の
 記念に



関山香

中尊寺にて、日々のお勤めに使われているお線香です。

衛年茶

参拝のお土産として30年以上親しまれている健康茶です。

※通信販売のご注文もお受けいたします

中尊寺事務局

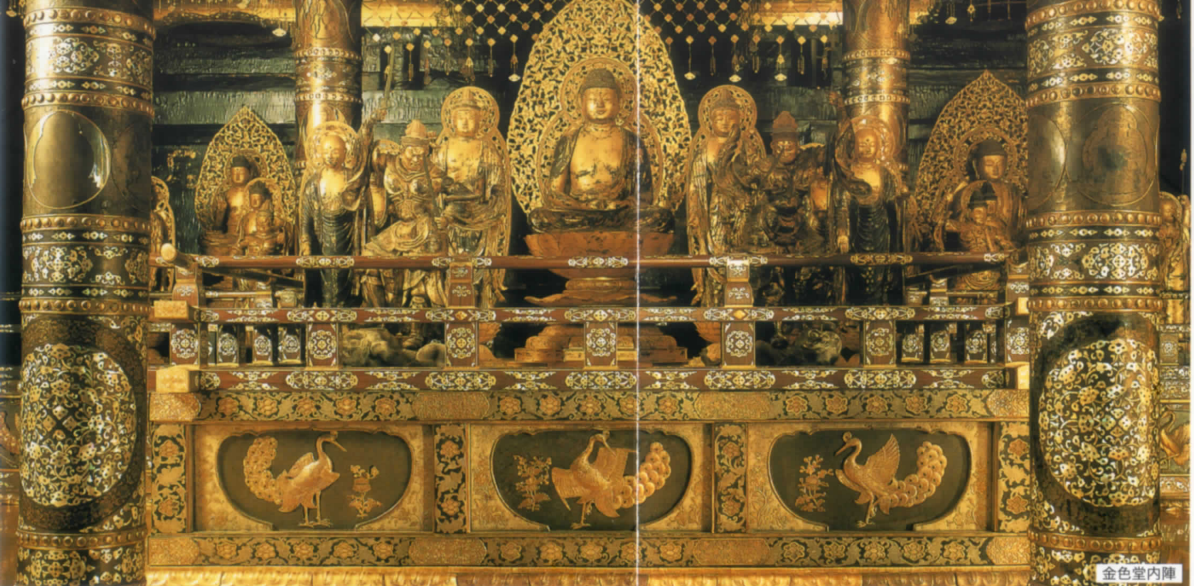
〇二九—四一九五

岩手県平泉町衣岡二〇二一

☎〇一九一—四六—二二二一

中尊寺

天台宗東北大本山。八五〇年、慈覚大師円仁の開山。十二世紀初め奥州藤原氏初代清衡公が前九年・後三年の合戦で亡くなった命を平等に供養し、仏国土を建設するため大伽藍を造営しました。惜しくも十四世紀に堂塔の多くは焼失しましたが、金色堂始め三千余点の国宝・重要文化財を伝える平安仏教美術の宝庫です。



金色堂内陣



本堂



讚衡蔵



中尊寺経

〔国宝〕金色堂 こんじきどう

天治元年（一一二四）造立。堂宇全体を金箔で覆い、随所に螺鈿細工・蒔絵などの漆工芸や精緻な彫金を施して、経典に説かれた「皆金色」の極楽浄土を表現しています。三基の須弥壇の上には、それぞれ本尊である阿弥陀如来、両脇に観音菩薩・勢至菩薩、さらに六体の地藏菩薩と持国天・增長天がそれを囲み、稀有な仏像構成となっています。

金色堂はまた霊廟でもあり、中央の壇の内部に初代清衡公、向かって左の壇に二代基衡公、右の壇に三代秀衡公のご遺体と四代泰衡公の首級が納められています。

〔国宝〕中尊寺経 ちゅうそうじきょう

中尊寺経とは紺紙に金泥や銀泥で書写された経典であり、清衡公発願の「金字交書一切経」、秀衡公発願の「金字一切経」など、いずれも日本の仏教典籍において特筆すべきものです。

讚衡蔵 さんこうぞう (宝物館)

中尊寺に伝わる様々な仏像を一堂に集め、ご参拝いただける宝物館です。多くの国宝・重要文化財を収蔵し、その一部を展示室にてご見学いただけます。

本堂 ほんどう

中尊寺の法要儀式の多くが行われる根本道場。堂内には日本の天台宗開祖伝教大師最澄が千二百年前に灯した「不滅の法灯」が護持されています。

本尊は平成二四年に新たに開眼した釈迦如来坐像。東日本大震災の後、東北に住む人々を慈しみのまなざしで見守る仏様です。

隣接する光勝院は修行道場として、坐禅・写経等の研修が行われます。